**●『改訂版 高等学校 現代社会』年間指導計画と評価の観点の例**

数研出版 現社/320

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| **月** | **時****間** | **大単元****（学習項目）** | **小単元****（学習内容）** | **指導・評価の観点** |
|  | 第1編　私たちの生きる社会 |
| **4** | **2** | 第1章地球環境問題 |  | ・地球温暖化など地球環境問題と生物多様性の危機について理解できる《知識》《関心》・持続可能な社会の形成のため，環境にかかわる課題を考察することを通して，幸福，正義，公正など社会のあり方を考察する基盤を理解できる《関心》《思考》・先進国と発展途上国，現在の人々と将来の人々との世代間においてさまざまな立場・観点があることを整理し，議論や発表ができる《思考》《技能》 |
| **2** | 第2節資源・エネルギー問題 |  | ・資源・エネルギー問題について理解できる《知識》《関心》・資源・エネルギー問題にかかわる課題を考察することを通して，幸福，正義，公正など社会のあり方を考察する基盤を理解できる《関心》《思考》・持続可能な社会・循環型社会の形成のため，市民・消費者や事業者，自治体などさまざまな立場・観点があることを整理し，議論や発表ができる《思考》《技能》 |
| **2** | 第3節生命をめぐる問題 |  | ・生命科学やバイオテクノロジーがどのように進展しているかを理解できる《知識》《関心》・生命にかかわる課題を考察することを通して，幸福，正義，公正など社会のあり方を考察する基盤を理解できる《関心》《思考》・人類の福祉の増進のため，科学技術をどのように活用していくべきかを考察し，科学技術の進歩が従来の倫理観にどのような影響を与えているか議論や発表ができる《思考》《技能》 |
| **5** | **2** | 第4節情報をめぐる問題 |  | ・インターネットや携帯電話の普及など，通信技術の進展とそれにともなう社会の急速な変化について理解できる《知識》《関心》・高度情報化社会における情報にかかわる課題を考察することを通して，幸福，正義，公正など社会のあり方を考察する基盤を理解できる《関心》《思考》・情報通信技術をどのように活用していくべきかを考察するとともに，人々の多様な価値観を背景に生じる衝突や対立，社会的な課題について整理し，議論や発表ができる《思考》《技能》 |
|  | 第2編　現代社会と人間としてのあり方生き方 |
| **5** | **2** | 第1章青年期と自己の形成 | 第1節青年としてのあり方・生き方 | ・青年期は自立や自律をはかる重要な時期であることを理解できる《知識》・自己形成の課題について考察できる《思考》・よりよく生きることについての自覚を深められる《関心》・社会の一員としての自覚を深め，自分の生き方を選択し，自己実現がめざせる《関心》・自らの生きがいや進路について発表できる《技能》《思考》 |
| **4** | 第2節先人の生き方・考え方 | ・古代・中世・近世・近代の世界の思想家の思想内容が理解できる《知識》・先哲の思想や生き方から自分自身の生き方を検証し，参考にできることはないか考察できる《関心》《思考》 |
| **6** |
| **2** | 第3節日本人としての自覚 | ・古代・中世・近世・近代の日本の思想家の思想内容が理解できる《知識》・生活文化や伝統が自分の生き方に与えている影響に気付くことができる《思考》 |

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| **6** | **3** | 第2章現代の民主政治と政治参加の意義 | 第1節民主政治の基本原理 | ・法などの社会規範の役割が理解でき，日常生活と関連づけて考察できる《知識》《技能》・民主政治における国家と個人のあり方が考察できる《思考》・民主政治のあゆみが理解できる《知識》・民主政治が私たちの生活とかかわっており，民主社会に主体的に生きる人間のあり方生き方について思索を深められる《関心》 |
| **6** | 第2節日本国憲法と基本的人権 | ・日本国憲法の三大原理や第9条の内容が理解できる《知識》・男女間や国籍の違いなど，身近なところで人権が保障されているか調べ，報告できる《関心》《技能》・日本国憲法で保障されている権利が理解でき，その権利がどのような具体的事件に適用されているのかを調べ，その保障と他者の権利や公共の利益との調和について考察できる《知識》《技能》《思考》・人権問題にかかわる新聞記事を選び，その内容を発表できる《技能》・国際情勢の変化にともない，日本の平和主義のあり方がどう変化していったのか考察できる《思考》・日本の国際貢献のあり方について，意見を持ち，発表できる《技能》 |
| **7** |
| **9** | **4** | 第3節日本の政治機構 | ・日本国憲法に見られる三権相互の関係とそれぞれの役割が理解できる《知識》・行政機能が拡大している現状を理解し，その是非について主体的に考察できる《知識》《思考》・地方自治の現状と課題が理解できる《知識》・住民投票など身近な地域で行われている例を調べ，報告できる《関心》《技能》 |
| **3** | 第4節政治参加と民主政治の課題 | ・選挙のしくみが理解でき，選挙制度によって政党政治の形態が変化することに気付くことができる《知識》《思考》・政党の役割を理解し，各党の綱領を調べ，その政策を知ることができる《知識》《思考》・日本の政治について課題を発見し，解決する見通しが持てる。また，議会の見学や住民運動・消費者運動など，身近に自らが参加できる機会を発見し，主権者として参加しようという意欲を育てることができる《関心》《思考》・模擬投票などの実施により，政党や選挙を身近に捉えることができる《技能》《関心》 |
| **4** | 第3章現代の経済社会と経済活動のあり方 | 第1節経済のしくみと市場機構 | ・科学技術の進展が生活にどう変化を及ぼしたのか考察できる《思考》・現代の企業の果たしている役割が理解できる《知識》・市場経済のメカニズムが理解できる《知識》 |
| **10** |
| **4** | 第2節財政と金融 | ・各種経済指標を理解し，その指標の動向を読み解くことができる《知識》《技能》・政府が経済に果たしている役割を理解できる《知識》・GDPが大きいことが豊かさにつながるのかどうか，豊かさについて自分なりに判断できる《思考》・金融・財政のしくみを理解し，経済状況に応じて適切な手段を提示できる《知識》《技能》 |
| **4** | 第3節日本経済の発展と変化 | ・戦後日本経済のあゆみが理解できる《知識》・経済のサービス化が進展し，国民生活にどのような変化をもたらしたか考察できる《思考》・中小企業や農業の果たしている役割と現状を理解できる《知識》 |
| **11** |
| **4** | 第4節豊かな生活と福祉の実現 | ・公害がなぜ発生したのか原因を考察できる《思考》・失業率や公共事業のあり方に関心を持ち，新聞などで情報を集め，意欲的に現在の日本経済を探究できる《関心》《技能》・社会保障や雇用・労働問題を理解できる《知識》・日本の経済について課題を発見し，解決する見通しが持てる《関心》《思考》 |

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| **11** | **3** | 第4章国際経済の動向と日本の役割 | 第1節国際政治の動向 | ・国際法の意義や国際紛争を解決する機関の役割が理解できる《知識》・集団的安全保障がなぜ有効なのか考察できる《思考》・国際連盟・国際連合の組織と役割が理解でき，国連の現状と課題について考察できる《知識》《思考》・冷戦の成立とその終結後の国際政治の流れが理解できる《知識》 |
| **12** |
| **3** | 第2節国際政治の課題と日本の役割 | ・核軍拡から核軍縮への流れが理解できる《知識》・民族紛争や難民問題など国際政治問題について関心を日常から持っている《関心》・留学生や国際NGOと接することにより，国際化を身近に体験し，国際社会の諸問題について判断できる《関心》《思考》・国際社会の中で平和主義を掲げる日本の役割が認識でき，国際問題について自分なりの意見を持ち，他者に説明できる《技能》《関心》 |
| **1** | **3** | 第3節国際経済の動向 | ・戦後の世界経済の流れが理解できる《知識》・貿易や外国為替相場について，そのしくみが理解できる《知識》・外国為替相場などのチャート図を見て，レートや市場の動向を理解し，円高などの為替相場の変動が経済にどのような影響を与えるのか考察できる《技能》《思考》 |
| **3** | 第4節国際経済の課題と国際協力 | ・発展途上国の現状を知り，貧困や飢餓などの克服のために自らがどのようなことができるか考えることができる《関心》《思考》・経済統合が進んでいる世界の現状を理解できる《知識》・外務省や国連のホームページなどを参照し，国際社会や各国の課題を知ることができる《技能》・主体的に国際社会の課題を考えようとする自覚を育てることができる《関心》・国際社会について自分なりの展望が持てる《思考》 |
|  | 第3編　ともに生きる社会をめざして（課題探究編） |
| **2・3** | **9** | 課題探究の観点　（p.198～199） | ・現代社会に生きる私たちの課題が指摘できる《思考》・さまざまな課題の中で，自己とのかかわりに注目して主体的に課題を選択し，探究できる《関心》・現代社会の諸問題について，その問題の所在，現状，問題点などが理解できる《知識》・現代社会の諸問題を解決していくための方法や見通しを持つことができる《思考》・それぞれが選択した課題について，今後も継続して探究しようという意欲を持つことができる《関心》 |
| **1** | 課題探究・研究の手引き　（p.200～209） | ・現代社会の諸問題について，その資料を収集・選択し，的確に分析できる《技能》・現代社会の諸問題を多角的・多面的に考察し，その内容をレポートや口頭発表などによって的確に表現できる《思考》・現代社会の特質から生じる価値の対立について，討論やディベートなどさまざまな方法を活用して探究できる《技能》 |

指導・評価の観点欄の《関心》は「関心・意欲・態度」を，《思考》は「思考・判断・表現」を，《技能》は「資料活用の技能」を，《知識》は「知識・理解」をさす。

■各教科の評価の観点及びその趣旨（高等学校及び特別支援学校高等部）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **公　　　民** | 関心・意欲・態度 | 現代の社会と人間にかかわる事柄に対する関心を高め，意欲的に課題を追究するとともに，平和で民主的なよりよい社会の実現に向けて参加，協力する態度を身に付け人間としての在り方生き方についての自覚を深めようとする。 |
| 思考・判断・表現 | 現代の社会と人間にかかわる事柄から課題を見いだし，社会的事象の本質や人間の存在及び価値などについて広い視野に立って多面的・多角的に考察し，社会の変化や様々な考え方民を踏まえ公正に判断して，その過程や結果を適切に表現している。 |
| 資料活用の技能 | 現代の社会と人間にかかわる事柄に関する諸資料を収集し，有用な情報を適切に選択して，効果的に活用している。 |
| 知識・理解 | 現代の社会的事象と人間としての在り方生き方とにかかわる基本的な事柄を理解し，その知識を身に付けている。 |